

『司会に初挑戦!“今”を楽しむ』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULS のメルマガ」第45号—

「司会なんて、今までやったことなかったし、やりたいとも思っていなかった。
でも、子供たちも応援して楽しみにしてくれて、仲間の協力があって、乗り越えられた。
恐る恐るやってみたら、最高の経験だった！」
2月に行われた、海老名でのホリデイスーパーピアザ。
関東セルラスのイベント司会に初挑戦した、メンバーのお話です。

先週火曜日に、地元の老人ホームにて、「世界のことばと遊びの広場」と銘打ってイベントをやってきました。
留学生2人と、セルラスメンバー4人で出かけ、楽しいひと時でした。今回はシエラレオネと台湾の留学生。
国紹介やクイズ、ゲームで盛り上がりました。
平均年齢80歳の素敵なシニアの皆さん、2020年のオリンピックを見据えて色々勉強したいと、目を輝かせてじっくり聞いてくださり、
積極的に留学生たちに話しかけていました。
私は留学生との英語でのやり取りに鍛えられましたが(汗)、良い経験となりました。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラス・メルマガ』第45号の目次です。

【目次】

- ≪1≫「ホリデイスーパーピアザの主催者側に立って感じたこと」
 - ≪2≫ セルラス インフォメーション
-

≪1≫「ホリデイスーパーピアザの主催者側に立って感じたこと」

神奈川県厚木市在住 仁科さん(家族構成:夫、小1長女、5歳長男、3歳次男)

【最初は困惑するだけの私たち】

今回、セルラスのホリデイスーパーピアザ(※)を、厚木ピアザが主催することになった。
最初は、「自分たちでやるの？本当に？」と、第三者的な立場で話を聞いていた。
内容を決めるにあたって、何をどのように始めていいのか分からずにいた。
毎週のピアザでは、「オープニングは小さい子達でダンス？」など、意見は出るものの詰めた話にはならず、
あっという間にプレスーパーピアザ(準備会)の日が来た。

【受け身の私とは違う・・・】

プレスーパーピアザ(準備会)には、小1の長女と一緒に参加した。
メヒコのホームステイ交流に参加したメンバーたちの熱い話を聞いたり、スケジュール内容と時間配分に議論がかわされた。
参加したことで、ロールプレイの大切さやセルラスに対する、特にコーディネーターたちの熱い気持ちを感じるとることが

できた。

受身の私とは、姿勢が違うなと思った。みんなのモチベーションや意識の高さに、すごいなと思うことばかりだった。

そして、なんと！私が、司会をピアザメンバーと二人ですることになってしまった！！

したことがないため日毎に不安は増していった。ついつい、子供たちの前で

「ママが司会だって。やばいよ。自己紹介もあるし。出来ないよー。あーどうしよう。」とネガティブ発言になり、1週間前から仕事も手につかず、

ソワソワ、緊張していた。そんな私に長女は、

「私の自己紹介、ママの事言ってあげようか？」「ママが司会になったのおもしろい！」と話してくれた。

5才の長男は、「まあくん(弟)をトイレには連れて行けるよ。」とも言ってくれた。

【司会をする覚悟を決めた！】

子供たちも私に協力してくれようとしていることがわかった。子供たちは楽しみにしている。

親の私が最初からできないと終わってしまうなら何も変わらないし、子供たちにも

「これから何かチャレンジしようというときに、失敗してもいいから、チャレンジすることで何か得られることがきっとある」

ということに気づいて欲しいという思いもあり、司会をする覚悟を決めた。それからは、不安をなくす作業からとりかかった。

まず、会場の大きさなどを子供たちと見に行った。そこで子供たちにもトイレの場所などを覚えてもらった。

そして、司会も不安がなくなればと進行表を書いた。でもオープニングは、具体的な案は決まらないまま1週間前のピアザになった。

オープニングの曲は決まっているが、ダンスや内容は未定のまま。しかも厚木コーディネーターは身内の不幸があり、メンバーでやるしかなかった。

もう一人の司会のメンバーが率先して皆に連絡したり、割り振りしてくれたことで、それぞれが自分の出来ることを自らやりだした。

ダンスの振り付けを考えたり、当日参加できないメンバーも、メヒコのダンスにあうヒゲ作りをしてくれたり、歌の歌詞をパート事に色わけして書いてくれたり…

【みんなの力が有難かった！】

そして当日を迎えた。会場設営や、受付、照明、音響、タイムキーパーなどの役割を、コーディネーターや参加しているメンバーみんなが担っていてくれて、感謝しかなかった。

厚木ピアザの子供たちも、いつの間にか自分のできることを頑張り、年下の面倒を見てくれていた。

司会に気負っていたけど、何もできなくてもみんなが作り上げてくれていることに気づかされた。

となりに、司会のパートナーのいる安心感、厚木だけでなくジュニアリーダーをはじめ他の地域のメンバーたちの盛り上げようという気持ち、

会場のみんがひとつの事を作り出すため必死に頑張っている、だから前に立って進行していける。すごく有難かった。

終わってみて、厚木のメンバーは、やりきったことへの達成感、充実感を感じ、こんなに頑張ったのは学生以来と意見が出て、みんなとってもいい顔をし、

会場を後にできず余韻に浸っていた。いざとなったら、「やるときはやる！」とみんなが全力を出せたのは、同じ地域のメンバーという信頼感に加え、

みんなが同じ思いでいるということ、そして毎週のピアザでワンマンロールプレイや多言語を話したり、ピアザの司会をしたりという、小さな勇気の積み重ねがあつたのことだと思った。

そして、自分も頑張ることで子供たちにも変化が出てきたように思う。

長女は、新入学の子に対するクラス代表挨拶に立候補し選ばれ、幼稚園児の息子たち二人も大きなホールのお遊戯会で、堂々と自信をもってやっていた。

それもセルラスに出会えたことがきっかけになっているのではないかと思う。これからも不安や心配な気持ちが出てきても、

とりえずそれは横に置いてできることをがんばり、“今”を子供達と楽しんでいきたいと思う。

※ホリデイスーパーピアザ:毎月1回の地域(ピアザ)を超えてセルラスの活動を楽しむ会を、働いている人や青少年メンバーにも参加してもらえるように、休日に行うイベント

《2》セルラス インフォメーション

◆ セミナリオ ◆

セルラスのセミナリオとは、毎年新年度に、これからの活動の方向性と旬の楽しい話題を共有するためにピアザを越えてメンバーたちが集う楽しい行事です。

お子様も一緒に楽しめます。お申込みの上どなたでも参加できます。

◎セミナリオ 2017 関東

4/16(日)午後 代々木にて

◎セミナリオ 2017 関西

4/23(日)午後 西宮にて

詳しくは本部事務局まで⇒ 03-5333-8202 E-mail:info@celulas.or.jp

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

先日、第6号が発刊されました！

今回は中高生の成長に焦点を当てた内容になっています。ぜひご一読ください。

⇒ <http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多言語教育講演会・セミナー』に参加されるなど、

私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントや講演会などのお知らせを、月2回の予定でお届けします。